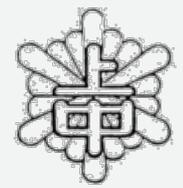


仙台市立上杉山中学校



吉田 知彦 校長

上中シンボル



校章の紋様は、校木にちなむ「杉の葉」を表し、生徒と学校が杉の**大樹のごとく空に向かってすくすくと成長・発展すること**を象徴しています。三大多行事の1つ「大樹祭」は3年生全員が心を一つにして舞うYOSAKOIの披露や、個人でテーマを設定し課題研究・発表を行うもの。個々の成長を願う思いが込められていることがよくわかります。



中鉢 竜広 PTA会長

熱～い生徒会活動

生徒会執行部に
緊急アンケート！

伝統を引き継いでいく決意、
心をひとつに**上中魂**



Q1. ズバリ生徒会の自慢は？

熱量がすごいです！全校生徒がひとつひとつの活動に全力で取り組んでいます。

Q2. 伝統を受け継いでいくために生徒会としてどんな取り組みをしていますか？

活発な生徒会活動は「上中魂」を体現している最たる活動。委員会や生徒総会など学年の壁を超えて行う活動は、上中魂が引き継がれていく大切な場です。

Q3. あらためて「上中魂」とは？

現状に満足することなく、高みを目指し続ける姿。そして、その校風を大切に継承しようと努める姿。

Q4. その他に何かあれば・・・

朝の登校時間に担当の生徒が昇降口付近に立ち、元気よく挨拶をする「あいさつ運動」や学校の中でも互いに積極的に挨拶し合う「あいさつWeek」を行なっています。

他にも校歌推進プロジェクトなど・・・

まだありますが、
続きはまたどこかで・・・



▲あいさつ運動の様子

自慢の三大行事 × 日々の”考動”

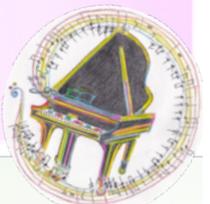
コロナ禍も決して諦めず”考動”し続ける上中

合唱祭・大樹祭（文化祭）・球技大会はいずれも生徒自身が実行委員会を立ち上げアイデアを出し合う生徒主体の行事。これらを通じて生徒たちは大いに学び大きく成長します。



▲令和3年7月 合唱祭開催

もう一方で上中の素晴らしいところは、日々の”考動”にあります。学校行事等の中止や延期が相次ぐコロナ禍でも、「仕方がない」ではなく「自分たちに何ができるか」と常に良い方法を探す姿勢が光ります。そして、生徒の安全を第一に考えながらも、やはり「何ができるか」と向き合い励まし続けてくださる先生方の存在も。只今、力を結集して大樹祭・球技大会開催に向け準備中！



上中PTA活動のモットーは「先生方と子どもたちのサポート」。コロナ禍でまだ制限はありますが、合唱祭の受付をはじめ可能な限り学校との繋がりを持ち活動しています。上中生徒の”考動”に学び、立ち止まることなく来年度以降にしっかり繋いでいきたいと思ひます。